

4WD THE Bottoms! 車輪実装

今回はある意味で“攻めた”マッチングを掲載したが、デリカに装着できるWORKのオフロードホイールとしては定番の「CRAG (クラッグ)」シリーズもオススメ。写真右はCRAG ガルパトレ (16×8.0J インセット25/5H-114.3) と245/70R16サイズのタイヤのセットアップ。一方、写真左はCRAG T-GRABIC (16×7.0Jインセット38/5H-114.3) に235/70R16サイズのタイヤを組み合わせたもの。



アッシュドチタン



グリミットシルバー
ダイヤカットリム

5H-114.3

SPECIFICATIONS

WORK EMOTION D9R

- サイズ: 17、18、19 インチ
- リム幅: 7.0J ~ 10.5J
- カラー: アッシュドチタン、グリミットシルバーダイヤカットリム、ブラック、ホワイト
- ※特殊カラーのカラリズムやカラリズムクリアにも対応
- 仕様: 鍛造1ピース (JWL & VIA 適合)
- 付属品: エアバルブ、ステッカー
- 価格: ¥48,000~¥60,500/本 (税込)

18インチというサイズも程良く、見る者に何かしらの衝動を与えてくれるワークエモーション。そうした衝動に駆られてみて欲しい。

様 々なホイールメーカーからD・5用ホイールがリリースされて人気を博しているが、その印象としては4WDテイストを引き出してワイルドさを強調したものが多く、しかしちょっと待って欲しい! D・5のP.C.Dは国産乗用車のほとんどが採用する114.3。つまり、キチンと強度を満たしたホイールであれば、乗用車用ホイールを組み合わせることも可能だ。

スポーツカーオーナーからも愛されるボトムの組み合わせでもハマる世界観

今回、そつした新たなマッチングを試みたのが、ロードハウスのデモカー。WORK 祭のオフロードホイールシリーズ「CRAG (クラッグ)」ではなく、あえてスポーツカー御用達のWORKエモーションD9Rをチョイス。その姿を見るまでは「マッチングはどうだろう...」というのが嘘偽りのない心境だったが、完成したその姿を見て一切の不安はなくなった。タイヤはデリカD・5の限界値に挑むようなBFグッドリッチのA/T KO2 (LT275/65R18) を装着しているが、車輪がスポーティになるとアグレッシブさと疾走感が一体化した個性を表現。こういうカスタムができるのも「D・5の強み」だと実感させられた。

D9R 最大のアイデンティティでもあるディープリムシルエットを採用。フルリバス形状とすることで、魅せるスポーツホイールとしての迫力を演出。一方で可能な限りスポークを細く見せ、軽快感や疾走感を演出。これにより薄肉化されて軽量化にも貢献。さらにワークのこだわりでもある高い強度を実現するため、スポークに奥行きを持たせている。

選択したインセットは32だが、センターハブ部分から一度盛り上がり、そこからリムエンドに向かって落とし込むことで、数値以上の立体感を感じられる。



6インチアップキット+車高調サスペンションによって、合計7インチアップした上で、タイヤをBFグッドリッチのオールテレーンKO2 (LT275/65R18) へ変更。より車高がアップしてさらに大胆なスタイルへ進化。一方でワークエモーションD9R (18×8.5J+32) というスポーティさでエレガントな雰囲気のあるホイールと組み合わせることで、独自のスタイルを構築。

MODEL CAR ●デリカD:5 / KADDIS XTREME スタイル 取材協力 ●ロードハウス (<https://roadhouse.co.jp>)
●装着ホイール: WORK EMOTION D9R ※アッシュドチタン (18×8.5Jインセット32/5H-114.3) ※ホイールスペーサー使用
●装着タイヤ: BF Goodrich All-Terrain T/A KO2 (LT275/65R18)

WORK

ワーク ●<https://www.work-wheels.co.jp>

☎06-6746-2859 (西日本コールセンター)
☎048-688-7555 (東日本コールセンター)
☎052-777-4512 (中日本コールセンター)

PHOTO ●浅井岳男 TEXT ●空野 稜、編集部

WORK EMOTION D9R

ワーク・エモーション ディーナインアール

重厚感より疾走感を追求! デリカD:5で魅せる新たなスタイル

